



## 2 学期スタート！！

40 日間の夏休みが終わり、2 学期がスタートしました。今年の夏は、猛暑を通り抜けて「酷暑(こくしょ)」という本当に暑い日が続きました。朝、テレビの天気予報を見ても兵庫県はずっと紫色の熱中症警戒アラートが出続けていました。そのような夏休み、子どもたちはいろいろなことに挑戦できたでしょうか？



様々な場所で、体験やものづくり、ご当地食材など目で見るだけでなく、五感を使った様々なイベントが開催されていました。始業式の子どもたちの顔を見ると、元気いっぱいであっという間に成長した感じがしました。良い経験をしてきたのだなとうれしく思いました。

さて、2 学期はたくさんの行事があります。自然学校や修学旅行、校外学習や福祉学習、市内巡りに音楽会。本当に多くの行事が行われます。その行事を通してグングン成長して行ってほしいと願っています。

運動会の時に子どもたちに「一生懸命するから、本当に楽しめるのです」と話をしました。これらのたくさんの行事を楽しむために「一生懸命」取り組んでほしいです。ですので、人にやってもらうのではなく、「自分でやっていく」ことを進んでしてほしいと思います。もちろん途中で失敗したり、つまづいたり、友達と意見が合わなかったりすることもあるでしょうが、一生懸命取り組んだからこそ、その失敗やつまづき、議論が次に生かされるのです。「失敗は成功の基(もと)」という言葉がありますが、人に準備してもらったり、一生懸命にしなかったことで失敗しても、その失敗の原因ややさしさを感じることはありません。ですので、すぐに「もういいや…」「失敗したら恥ずかしい…」となり、「もう一度!もう一回やってみる!」という気持ちが湧いてこないのです。失敗して当たり前、初めからうまくいなくて当たり前と思いき、どんどん前へ進んでいくためにも一生懸命取り組まなければならないのです。

夏休みに元阪神タイガース監督の矢野燿大さんの講演を聞きました。プロ野球という厳しい世界。結果を求められる大変な世界で長く選手を続けるために必要なことは、「心の持ちよう」だと。打率や防御率など数字という結果は当然気になるのですが、そればかりを追求すると、**失敗が失敗を呼び、どんどん悪い方へ気持ちが向いてしまう**そうです。長く選手として活躍するためには「失



敗」をどう次に生かしていくかという「心の持ちよう」だとおっしゃいました。そこで矢野監督は、そんな選手に「ピンチはチャンス!やで!」と何度も声を掛け、選手を信じ続けたそうです。

もちろんすべてがうまくいく訳ではないのですが、ピンチの時にはすぐに「失敗したら…」というマイナスの気持ちになってしまうのですが、**うまくいかもしれないというプラスの気持ちも自分で消してしまっている**。そんな時に「ピンチはチャンス!」と自分に言うことでマイナスの気持ちを少しでも減らすことができると。失敗しても「なぜ、いま失敗したのだろう?チャンスを生かすために何が足りなかったのか?」と自問自答を選手たちが始めたそうです。

子どもたちはもちろん失敗やつまづき、間違いをします。それを責めるのではなく、「なぜ失敗しちゃったのかな?何が足りなかったのかな?」「次はどうしたらうまくできると思う?」とできること(成し遂げられること)を信じて、次に生かす声掛けを家でも子どもたちにしていただければありがたいです。

2 学期の様々な行事に対して「一生懸命頑張ろう!」と子どもたちに声掛けをしていきます。いろいろなことがあると思いますが、次に生かすように学校でも声掛けをしていきます。子どもたちの成長を信じ、職員一丸となって頑張りますので、ご理解とご協力の程よろしく願いいたします。

## 令和7年度 9 月行事予定

日	曜	給食	行事等	日	曜	給食	行事等
1	月	○	給食開始 身体測定(5年・6年) L	16	火	○	安全点検の日 教材費引落日 ES
2	火	○	身体測定(2年) ES	17	水	△	1・2年校外学習
3	水	○	登校指導 身体測定(1年)	18	木	△	5年生代休 L
4	木	○	2年生6時間授業スタート L 身体測定(3・4年) 平和講話(6年)	19	金	△	自然学校①
5	金	○	委員会活動④	20	土		自然学校②
6	土			21	日		自然学校③
7	日			22	月	△	自然学校④ L
8	月	○	学園タイム(6年) L	23	火		自然学校⑤ 学園読書の日 秋分の日
9	火	○	ES	24	水	△	5年生代休
10	水	○		25	木	△	5年生代休 給食費教材費引落日 L
11	木	○	のびのび活動③ L	26	金	△	4年校外学習 ハニーFM6年
12	金	○		27	土		
13	土			28	日		
14	日		PTA運営委員会	29	月	△	修学旅行 L
15	月		敬老の日	30	火	△	修学旅行 ES

L…学校司書 ES…英語サポーター

## まだまだ熱中症予防対策を!

### ○水分を補給する

学校ではこまめな水分補給をするよう声かけします。お茶を多めに持たせてください。のどが渇く前から、こまめにお茶や水などで水分補給しましょう。

### ○帽子を被る

直射日光を避けるため帽子を着用させてください。登下校時や屋外の授業、外遊び等帽子をかぶります。服装も軽装で、素材も吸湿性や通気性のよいものを着用願います。

### ○汗をこまめに拭く

汗をこまめに拭くように促します。汗拭きタオルを持たせてください。タオルを水で濡らして首や手足を拭いたり、アイスタオルやアイスパックで首周りを冷やしたりする等、体調に合わせて使用してください。

## 学園小学校は、道徳の研究を進めています。

小学校では毎年、三田市教育委員会の指定や奨励を受けて、教科等 1 つの題材に絞って学校全体で教育研究を行っています。学園小学校では 3 年前(2023 年)から「道徳」を中心とした教育研究を行っています。

3 年前は、道徳という教科というより、「**集団作り**」を中心に子どもたちの心の安定を目指して取り組みました。なかなかすぐには効果が現れないものでしたが、少しずつですが「学級が楽しい」「お友達と一緒に楽しく過ごせた」などの声が子どもたちの中から自然と出るようになりました。

去年は、集団作りだけでなく「**道徳**」という教科指導にも力を入れようと、兵庫県教育大学から先生を迎え、道徳授業のいろはを再確認し、子どもたちの道徳性の育ちにどう寄り添っていくか等をご教授頂きました。

本年度は、これまでと同様「**集団作り**」を中心に添え、道徳授業の強化を目指しています。1 学期にもすでに研究授業を行い、学校全体で授業の準備段階から事後の協議まで関わり、子どもたち一人ひとりのことを思い描きながら「このように質問したら、どの子どもたちにストレートに届くのでは?」「その言葉で質問すると、他人事になってしまい、自分事に置き換えられないよ」など様々な意見を交錯させながら頑張ってきております。この夏休みも、2 学期の道徳の授業内容だけでなく、11 月の人権参観日の内容についても全教員で取り組んできました。



平成 29 年の学習指導要領改訂に伴い、特別の教科道徳が教科化されました。それによって道徳の教科書が作られました。道徳は国語や算数と違って、はっきりとした答えを導き出すものではありません。「**自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる**(学習指導要領より)」ことが目標です。

ですので、道徳の授業の難しさは、題材のどの部分を中心に添えるかによって、方向性が変わってしまったり、子どもたちへ投げかける発問や発問の言葉(単語)によって、子どもたちが考える視点や返ってくる意見などが違ってきます。そして大きく関わる部分として、**子どもたちのこれまでの経験や価値観、判断基準が異なっていること**です。

例えば…「戦争はいけないことですか?」という問い…

A…いけないこと B…ちょっとはいい C…理由があつたらいい D…やってもいい  
今の子どもたちはどう答えるでしょうか。

残念ながら 10 年前の中学生の回答で、**A 以外の答え**がありました。

現在、戦後 80 年を迎え遠い昔の話になりました。仏教では 50 年以上前に亡くなった方は「先祖」の枠に入り、法事等も個人ではなく先祖として弔うとなっています。この話は 30 年前にどうするのかと議論がありましたが、**世界で唯一の被爆国**である日本は「**戦争は忘れてはならない!**」「**二度と戦争をしてはならない!**」と強く平和を願い、現在も語り継がれているはずで



しかし子どもたちにとっては遠い昔の話なので「戦争」をなかなか捉えられていないのだと思います。それは**子どもたちの学びが足りないのでしょうか?**学校では平和学習として様々な取り組みをしています。大きな学習では修学旅行で広島市の平和記念公園へ行き、原爆について学びます。ご家庭ではいかがですか?祖父、祖母、曾祖父、曾祖母からのお話を聞いたり、戦跡を訪れたり、戦争映画を観たり、平和について家族で話をさせていただいたりしているのでしょうか。

子どもたちにとって、**一番の学びの場は「家庭(家族)」**です。幕末の蘭学者「福沢諭吉」は「**一家は習慣の学校なり、父母は習慣の教師なり**」と言っています。「あいさつをする」「時間を守る」「お箸の使い方」等の習慣はもちろん道徳的な価値観や判断基準を学ぶ場は家庭(家族)が一番です。当然、習慣というものは**すぐに身につくものではありません。少しずつ少しずつ浸透していくものですから、日頃からの取り組みや言葉がけで身につけていく**ものです。ですので、我々大人も日々道徳的な価値観や判断基準を**変化していく世の中に合わせて学んでいかなければならない**のです。



例えば、「男の子は青」「女の子は赤」「男の子だから重い荷物を持つ」「女の子だから料理をする」という意識は、今では「**アンコンシャスバイアス(無意識の思い込みや偏見)**」と言われ、男女差別につながります。少し前の時代では「**当たり前**」であったものが今では「**間違っているもの**」になることも多いです。

この「道徳的な価値観や判断基準」や「人権」などの意識を高めるには、多くの文献を読んだり、今の時代の情報を報道する TV やラジオ、新聞などを読まなければなりません。なかなか時間がないのが現状です。しかしながら、**今の子どもたちが何を学び、どのような道徳的な価値に触れているか**を知っていただくには、「**人権参観**」に参加いただくのが一番だと思います。また、参観後の学級集会に参加いただければ、先生方の趣向を凝らした人権学習で多くの学びがあるはずで、どうしても「人権」という話になると参加しづらい方も多いと思いますが、**子どもにとって親も人権を学んでくれているという姿はうれしいし、誇れるもの**です。人権学習は何かを問い詰める事ではなく、「**自分で気が付く**」ことを感じてもらう時間です。「人として…」という自己・他者を見つめなおす時間にしてほしいと思います。



学園小学校の人権参観日は 11 月 13 日(木) 13:40~です。まだ時間はありますので、日頃の子どもの道徳的な価値観や判断基準などを見つめ直しながら、参加を考えていただければ幸いです。**学園小学校の子どもたち、保護者、地域と温かい人の心の輪が広がってほしいと願っています。**